

橋梁MAEの活動状況

橋梁MAE（メンテナンス・アシスタント・エンジニア）とは？

橋梁の構造、劣化原因、補修工法等に関する基礎知識及び「長野県道路橋定期点検要領」に基づく点検技術を習得し、小規模橋梁*の点検ができる技術者。

※小規模橋梁とは、比較的点検が容易で構造が単純な橋長が概ね10m未満の橋梁

橋梁MAEの養成は、平成元年度より取り組みを進めており、令和5年度末までに、497名を認定・登録しています。

橋梁MAEの約4割を占める「市町村職員」の認定・登録者について、活動実態を調査しました。



市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

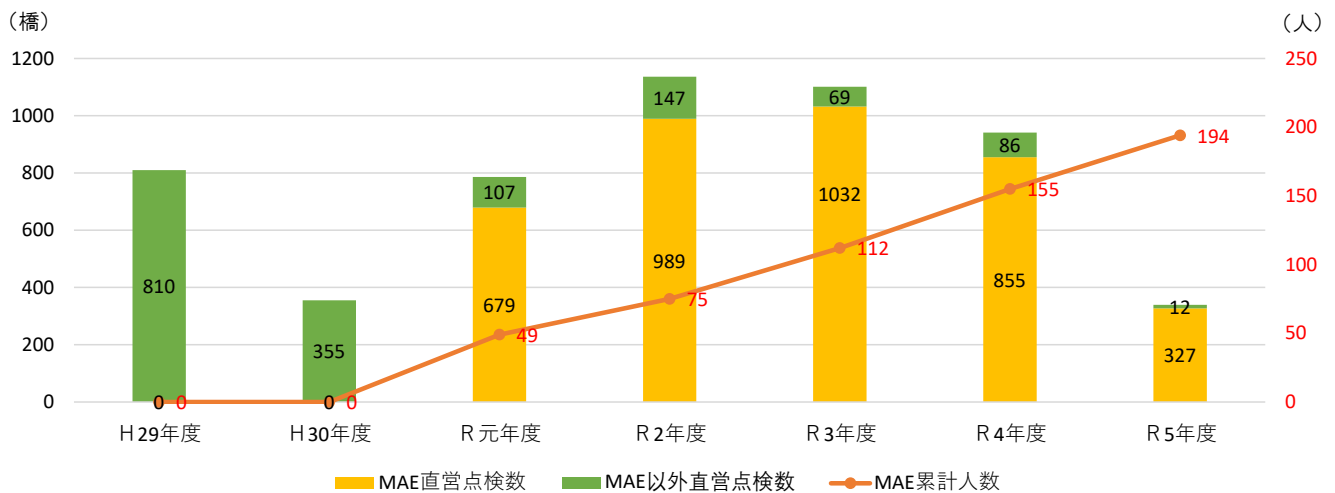
- ・調査期間 令和5年12月28日(木)～令和6年1月17日(水)
- ・調査方法 アンケート形式
- ・調査対象 調査時点で橋梁MAEの認定登録者を有する38市町村
- ・有効回答 36市町村
- ・調査内容 年度毎の認定登録者数
直営点検橋梁数
橋梁MAEが関与した直営点検橋梁数
橋梁MAEの効果
橋梁MAEによる直営点検の課題
直営点検の今後の予定
橋梁MAEが関与した直営点検の今後の予定
橋梁MAE取得の今後の予定



など

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(1) 橋梁MAEによる直営点検の推移

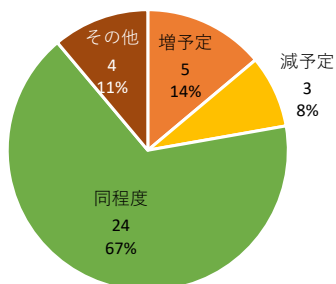


- 橋梁MAE直営点検数には、橋梁MAEが直接点検した場合の他に他職員の点検結果を確認した場合等も含まれます。
- 橋梁MAEを有する市町村全体では、直営点検の約9割に橋梁MAEが関与していました。
- 直営点検は継続しつつも、職員不足による負担軽減のため、一括発注等による委託を選択する市町村も増加傾向となっています。

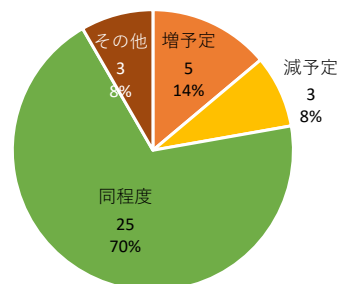
市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(2) 直営点検を行う橋梁数の今後の予定

①直営点検数



②橋梁MAEによる直営点検数



「②橋梁MAEによる直営点検数」を“増”予定としている理由

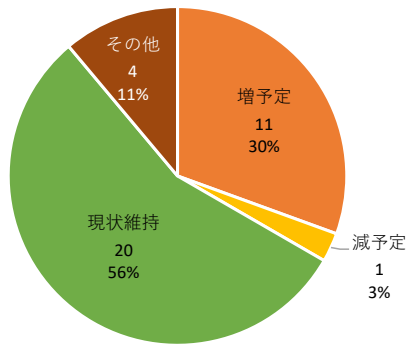
- 点検費用(委託費)削減のため
- 点検職員を育成し、結果のばらつきを防ぐため

「②橋梁MAEによる直営点検数」を“減”予定としている理由

- 職員数が減少しているため
- 正確な判定に不安があり、コンサルへの委託に頼らざるを得ないのため

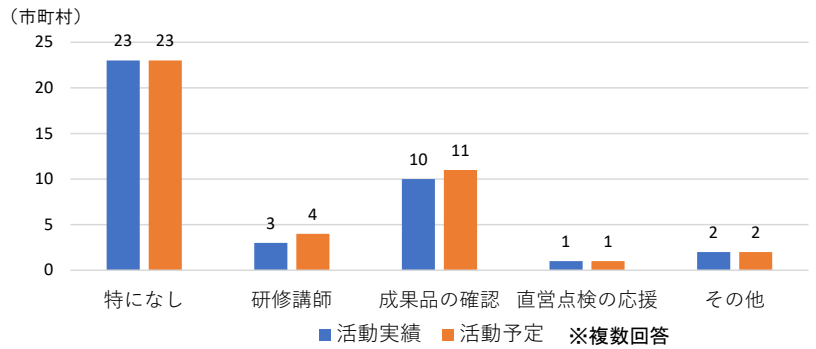
市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(3) 橋梁MAE取得者の今後の予定



※その他
・担当者の異動状況により判断 など

(4) 橋梁MAEの直営点検以外の活動状況



※その他
・橋梁補修工事の設計・発注及び工事監理業務 など

(5) 橋梁MAEによる直営点検で困った点、不都合な点等の課題

- ・橋梁点検数が多く、長時間拘束される。とりまとめに多くの時間を要する。
↳「点検結果からの調書作成支援ツール」など新技術の活用が有効です
- ・実務経験が浅く、評価判定に不安がある。特殊な形状の橋梁は、判断が難しい。
↳信州橋梁メンテナンス支援協議会では、相談窓口を開設しています。
☆協議会ホームページ：<https://www.pref.nagano.lg.jp/michikanri/mae.html>

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(6) 橋梁MAEによる直営点検の効果をどの様に感じているか

点検にかかる費用の削減につながる

講習会で学んだことで、点検方法や判定方法に一定の効果がある

講習会で習得した知識等を発揮できとても有効である

点検委託成果の照査等において、業者の言いなりにならず確認ができる

点検精度の向上、点検時間の短縮に効果があった

判定（判断）ができるようになり、直営でも点検ができる自信が生まれた

経費削減に貢献していることを実感するとともに、相応の責務も感じる

点検視点や判定区分の決定にバラツキがなくなり、点検内容の意思統一が図れた

講習会の未受講者に対し、点検方法等のノウハウを指導することができる

橋梁MAEを有する職員同士の意見交換により、より精度の高い点検ができていると感じる

